

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成23年11月28日

**【四半期会計期間】** 第111期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

**【会社名】** 昭和ホールディングス株式会社

**【英訳名】** Showa Holdings Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表執行役社長 重田 衛

**【本店の所在の場所】** 千葉県柏市十余二348番地

**【電話番号】** 04-7131-0181(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役財務総務担当 庄司 友彦

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県柏市十余二348番地

**【電話番号】** 04-7131-0181(代表)

**【事務連絡者氏名】** 執行役財務総務担当 庄司 友彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年8月12日に提出いたしました第111期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）に係る四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人元和により再度四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

なお、四半期連結財務諸表の記載事項に係る訂正箇所についてはXBR Lの訂正も行ったため、併せて訂正後のXBR L形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出しております。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 1 事業等のリスク

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### 1 提出会社の代表者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容

###### (1) 経営成績の分析

###### (2) 財政状態の分析

###### 2 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

### 注記事項

#### (セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

##### 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

#### (企業結合等関係)

#### (1株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次		第110期 第1四半期 連結累計期間	第111期 第1四半期 連結累計期間	第110期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	878,369	832,322	3,361,957
経常利益又は経常損失( )	(千円)	399,123	1,566,272	971,684
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(千円)	399,084	<u>2,977,913</u>	3,260,065
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	377,746	<u>2,990,306</u>	3,259,328
純資産額	(千円)	6,170,832	9,256,408	3,293,363
総資産額	(千円)	8,297,677	15,777,730	5,624,382
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額( )	(円)	8.58	<u>64.01</u>	70.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	73.8	<u>39.5</u>	57.7

(注) 1～5&lt;省略&gt;

(訂正後)

回次		第110期 第1四半期 連結累計期間	第111期 第1四半期 連結累計期間	第110期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	878,369	832,322	3,361,957
経常利益又は経常損失( )	(千円)	399,123	1,566,272	971,684
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(千円)	399,084	<u>2,232,703</u>	3,260,065
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	377,746	<u>2,245,097</u>	3,259,328
純資産額	(千円)	6,170,832	9,256,408	3,293,363
総資産額	(千円)	8,297,677	15,777,730	5,624,382
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額( )	(円)	8.58	<u>48.0</u>	70.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	73.8	<u>34.8</u>	57.7

(注) 1～5&lt;省略&gt;

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

(訂正前)

(1)～(9)<省略>

#### (10) 継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,977,913千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかし、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況分析 2. 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策」に記載した諸施策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(訂正後)

(1)～(9)<省略>

#### (10) 継続企業の前提に関する重要な事項

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,232,703千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

しかし、「3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況分析 2. 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策」に記載した諸施策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### 1 提出会社の代表者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する分析・検討内容

##### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

<省略>

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比5.2%減の832,322千円となりました。損益面におきましては、生産効率の改善、製品在庫水準の適正化を継続的に取り組み、損益分岐点の低下を図っておりますが、営業損失は98,405千円（前年同四半期は営業損失112,405千円）となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。当第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,566,272千円（前年同四半期は経常損失399,123千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,977,913千円（前年同四半期は四半期純損失399,084千円）となりました。

<省略>

(訂正後)

<省略>

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比5.2%減の832,322千円となりました。損益面におきましては、生産効率の改善、製品在庫水準の適正化を継続的に取り組み、損益分岐点の低下を図っておりますが、営業損失は98,405千円（前年同四半期は営業損失112,405千円）となりました。また、前連結会計年度において未収入金に対する貸倒引当金繰入処理をいたしました。当第1四半期連結会計期間において入金等による貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したことにより、経常利益は1,566,272千円（前年同四半期は経常損失399,123千円）となり、株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、連結対象子会社としたことによる負ののれん発生益を特別利益に計上したことにより、四半期純利益は2,232,703千円（前年同四半期は四半期純損失399,084千円）となりました。

<省略>

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

(資産)<省略>

(負債)<省略>

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,256,408千円（前連結会計年度末比5,963,045千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,977,913千円増）であります。

<省略>

(訂正後)

(資産)<省略>

(負債)<省略>

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、9,256,408千円（前連結会計年度末比5,963,045千円増）となりました。

純資産増加の主な原因は、四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比2,232,703千円増）であります。

<省略>

2 事業等のリスクに記載した重要事象等についての分析・検討内容及び当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策

(訂正前)

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,977,913千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

<省略>

(訂正後)

当社グループは前連結会計年度において547,032千円の営業損失及び3,260,065千円の当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても2,232,703千円の四半期純利益を計上したものの、98,405千円の営業損失を計上しております。また、営業キャッシュ・フローについても前連結会計年度まで継続的にマイナスとなっており、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

<省略>

## 第4【経理の状況】

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	221,521	939,489
受取手形及び売掛金(純額)	1,057,536	1,239,001
営業貸付金	-	6,110,614
有価証券	241,153	125,650
商品及び製品	209,422	297,835
仕掛品	153,225	194,210
原材料及び貯蔵品	95,398	148,187
未収入金	2,681,730	342,628
短期貸付金	350,000	359,086
繰延税金資産	-	91,331
その他	34,244	947,389
貸倒引当金	1,810,801	430,665
<b>流動資産合計</b>	<b>3,233,431</b>	<b>10,364,761</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	62,551	106,282
機械装置及び運搬具(純額)	19,910	45,184
工具、器具及び備品(純額)	2,523	10,188
土地	2,050,894	2,145,168
リース資産	-	3,694
建設仮勘定	0	1,620
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,135,880</b>	<b>2,312,139</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	0	357,247
その他	6,464	17,760
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,464</b>	<b>375,008</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,341	13,952
関係会社株式	95,251	1,527,036
長期貸付金	10,411	287,177
破産更生債権等	2,559,811	3,004,823
差入保証金	88,611	123,309
繰延税金資産	-	130,475
その他	55,127	687,136
貸倒引当金	2,574,949	3,048,088
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>248,606</b>	<b>2,725,821</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,390,950</b>	<b>5,412,968</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,624,382</b>	<b>15,777,730</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	307,502	383,261
短期借入金	-	90,000
1年内返済予定の長期借入金	29,315	2,491,618
1年内償還予定の社債	-	100,000
未払法人税等	10,058	235,361
未払消費税等	18,906	8,523
未払費用	123,845	130,004
賞与引当金	69,600	146,686
その他	256,501	297,337
流動負債合計	815,728	3,882,794
<b>固定負債</b>		
社債	-	30,000
長期借入金	138,730	1,211,514
退職給付引当金	377,040	388,388
資産除去債務	149,017	149,762
再評価に係る繰延税金負債	809,556	809,556
負ののれん	7,196	6,716
その他	33,749	42,587
固定負債合計	1,515,290	2,638,527
負債合計	2,331,018	6,521,321
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	2,968,645	9,267
自己株式	23,160	23,166
株主資本合計	2,045,763	5,023,670
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	661	1,138
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	18,900
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,212,058
新株予約権	9,690	41,001
少数株主持分	37,364	2,979,678
純資産合計	3,293,363	9,256,408
負債純資産合計	5,624,382	15,777,730



(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	221,521	939,489
受取手形及び売掛金(純額)	1,057,536	1,239,001
営業貸付金	-	6,110,614
有価証券	241,153	125,650
商品及び製品	209,422	297,835
仕掛品	153,225	194,210
原材料及び貯蔵品	95,398	148,187
未収入金	2,681,730	342,628
短期貸付金	350,000	359,086
繰延税金資産	-	91,331
その他	34,244	947,389
貸倒引当金	1,810,801	430,665
<b>流動資産合計</b>	<b>3,233,431</b>	<b>10,364,761</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	62,551	106,282
機械装置及び運搬具(純額)	19,910	45,184
工具、器具及び備品(純額)	2,523	10,188
土地	2,050,894	2,145,168
リース資産	-	3,694
建設仮勘定	0	1,620
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,135,880</b>	<b>2,312,139</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	0	357,247
その他	6,464	17,760
<b>無形固定資産合計</b>	<b>6,464</b>	<b>375,008</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,341	13,952
関係会社株式	95,251	1,527,036
長期貸付金	10,411	287,177
破産更生債権等	2,559,811	3,004,823
差入保証金	88,611	123,309
繰延税金資産	-	130,475
その他	55,127	687,136
貸倒引当金	2,574,949	3,048,088
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>248,606</b>	<b>2,725,821</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,390,950</b>	<b>5,412,968</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,624,382</b>	<b>15,777,730</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	307,502	383,261
短期借入金	-	90,000
1年内返済予定の長期借入金	29,315	2,491,618
1年内償還予定の社債	-	100,000
未払法人税等	10,058	235,361
未払消費税等	18,906	8,523
未払費用	123,845	130,004
賞与引当金	69,600	146,686
その他	256,501	297,337
流動負債合計	815,728	3,882,794
<b>固定負債</b>		
社債	-	30,000
長期借入金	138,730	1,211,514
退職給付引当金	377,040	388,388
資産除去債務	149,017	149,762
再評価に係る繰延税金負債	809,556	809,556
負ののれん	7,196	6,716
その他	33,749	42,587
固定負債合計	1,515,290	2,638,527
負債合計	2,331,018	6,521,321
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,036,941	4,036,941
資本剰余金	1,000,627	1,000,627
利益剰余金	2,968,645	735,942
自己株式	23,160	23,166
株主資本合計	2,045,763	4,278,460
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	661	1,138
土地再評価差額金	1,194,296	1,194,296
為替換算調整勘定	6,910	18,900
その他の包括利益累計額合計	1,200,545	1,212,058
新株予約権	9,690	41,001
少数株主持分	37,364	3,724,888
純資産合計	3,293,363	9,256,408
負債純資産合計	5,624,382	15,777,730

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	878,369	832,322
売上原価	701,334	648,509
売上総利益	177,034	183,812
販売費及び一般管理費	289,440	282,218
営業損失( )	112,405	98,405
営業外収益		
受取利息	52,022	3,910
受取配当金	2,831	564
有価証券売却益	573	-
有価証券評価益	-	20,646
貸倒引当金戻入額	-	1,641,367
その他	6,766	6,214
営業外収益合計	62,192	1,672,702
営業外費用		
支払利息	1,829	1,113
有価証券評価損	338,026	-
訴訟関連費用	6,074	5,446
持分法による投資損失	-	23
その他	2,978	1,440
営業外費用合計	348,910	8,024
経常利益又は経常損失( )	399,123	1,566,272
特別利益		
負ののれん発生益	-	1,435,985
特別利益合計	-	1,435,985
特別損失		
固定資産処分損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	399,123	3,002,258
法人税、住民税及び事業税	684	25,010
法人税等合計	684	25,010
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	399,807	2,977,248
少数株主損失( )	723	664
四半期純利益又は四半期純損失( )	399,084	2,977,913

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	878,369	832,322
売上原価	701,334	648,509
売上総利益	177,034	183,812
販売費及び一般管理費	289,440	282,218
営業損失( )	112,405	98,405
営業外収益		
受取利息	52,022	3,910
受取配当金	2,831	564
有価証券売却益	573	-
有価証券評価益	-	20,646
貸倒引当金戻入額	-	1,641,367
その他	6,766	6,214
営業外収益合計	62,192	1,672,702
営業外費用		
支払利息	1,829	1,113
有価証券評価損	338,026	-
訴訟関連費用	6,074	5,446
持分法による投資損失	-	23
その他	2,978	1,440
営業外費用合計	348,910	8,024
経常利益又は経常損失( )	399,123	1,566,272
特別利益		
負ののれん発生益	-	690,775
特別利益合計	-	690,775
特別損失		
固定資産処分損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	399,123	2,257,048
法人税、住民税及び事業税	684	25,010
法人税等合計	684	25,010
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	399,807	2,232,038
少数株主損失( )	723	664
四半期純利益又は四半期純損失( )	399,084	2,232,703

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	399,807	2,977,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	477
為替換算調整勘定	22,767	13,535
その他の包括利益合計	22,061	13,058
四半期包括利益	377,746	2,990,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,299	2,989,425
少数株主に係る四半期包括利益	1,553	881

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	399,807	2,232,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	477
為替換算調整勘定	22,767	13,535
その他の包括利益合計	22,061	13,058
四半期包括利益	377,746	2,245,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,299	2,244,215
少数株主に係る四半期包括利益	1,553	881

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(訂正前)

1. ~ 2. <省略>

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが1,435,985千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。

(訂正後)

1. ~ 2. <省略>

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第1四半期連結累計期間において、当社が株式会社ウェッジホールディングスの株式を追加取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他」の区分において、負ののれんが690,775千円が発生し、特別利益(負ののれん発生益)に計上いたしました。各報告セグメントには配分しておりません。

(企業結合等関係)

(訂正前)

(1) ~ (3) <省略>

(4) 負ののれん発生益の金額及び発生原因

発生した負ののれんの金額

1,435,985千円

発生原因

取得時の時価純資産総額が取得原価を上回ったためであります。

(訂正後)

(1) ~ (3) <省略>

(4) 負ののれん発生益の金額及び発生原因

発生した負ののれんの金額

690,775千円

発生原因

取得時の時価純資産総額が取得原価を上回ったためであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	8円58銭	64円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	399,084	2,977,913
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	399,084	2,977,913
普通株式の期中平均株式数(株)	46,519	46,519
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
(うち支払利息(税額相当額控除後))		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成21年 ストック・オプションと しての新株予約権 (新株予約権の数 9,310個)	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(訂正後)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	8円58銭	48円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	399,084	2,232,703
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	399,084	2,232,703
普通株式の期中平均株式数(株)	46,519	46,519
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
(うち支払利息(税額相当額控除後))		
普通株式増加数(株)		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	平成21年 ストック・オプションと しての新株予約権 (新株予約権の数 9,310個)	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月28日

昭和ホールディングス株式会社

取締役会 御中

監査法人元和

指定社員 業務執行社員	公認会計士	塩	野	治	夫	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	中	川	俊	介	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和ホールディングス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和ホールディングス株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年8月11日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月24日付けで無限定適正意見を表明している。

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月12日にレビュー報告書を提出した。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。